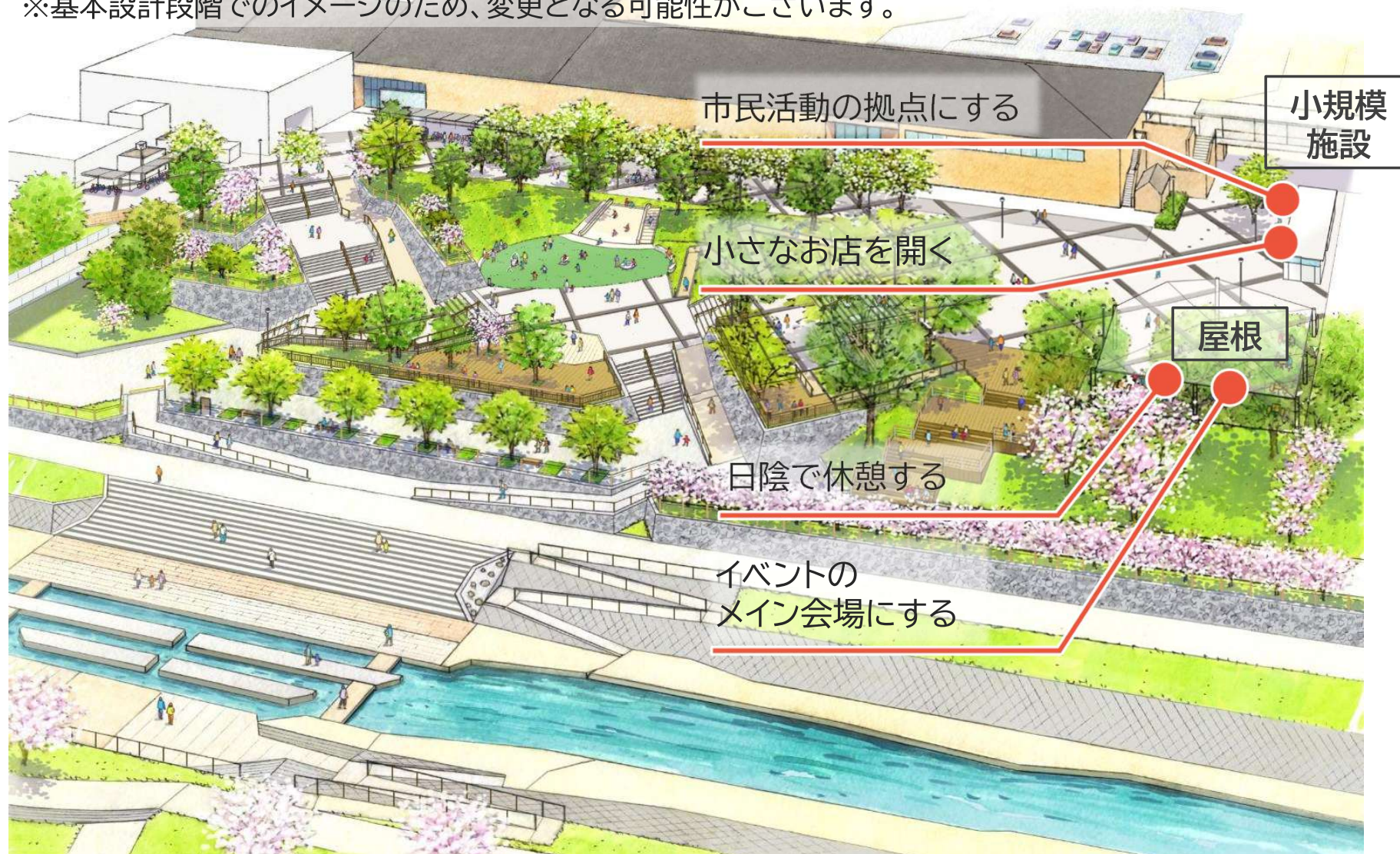


洛西ニュータウン タウンセンター広場等再整備に向けた これまでの取組

京都市都市計画局住宅室 住宅政策課

再整備のイメージ(鳥瞰図)

※基本設計段階でのイメージのため、変更となる可能性があります。



再整備のイメージ(ウッドデッキから小畑川を望む)

※基本設計段階でのイメージのため、変更となる可能性がございます。

カウンターテーブル

コーヒーを片手に小畑川を眺める

ウッドデッキ

イベントの屋台で買った食べ物を
夫婦でシェアする

親子で風景を楽しみながら
小畑川へ降りていく

再整備のイメージ(広場から小畑川中央公園を望む)

※基本設計段階でのイメージのため、変更となる可能性がございます。

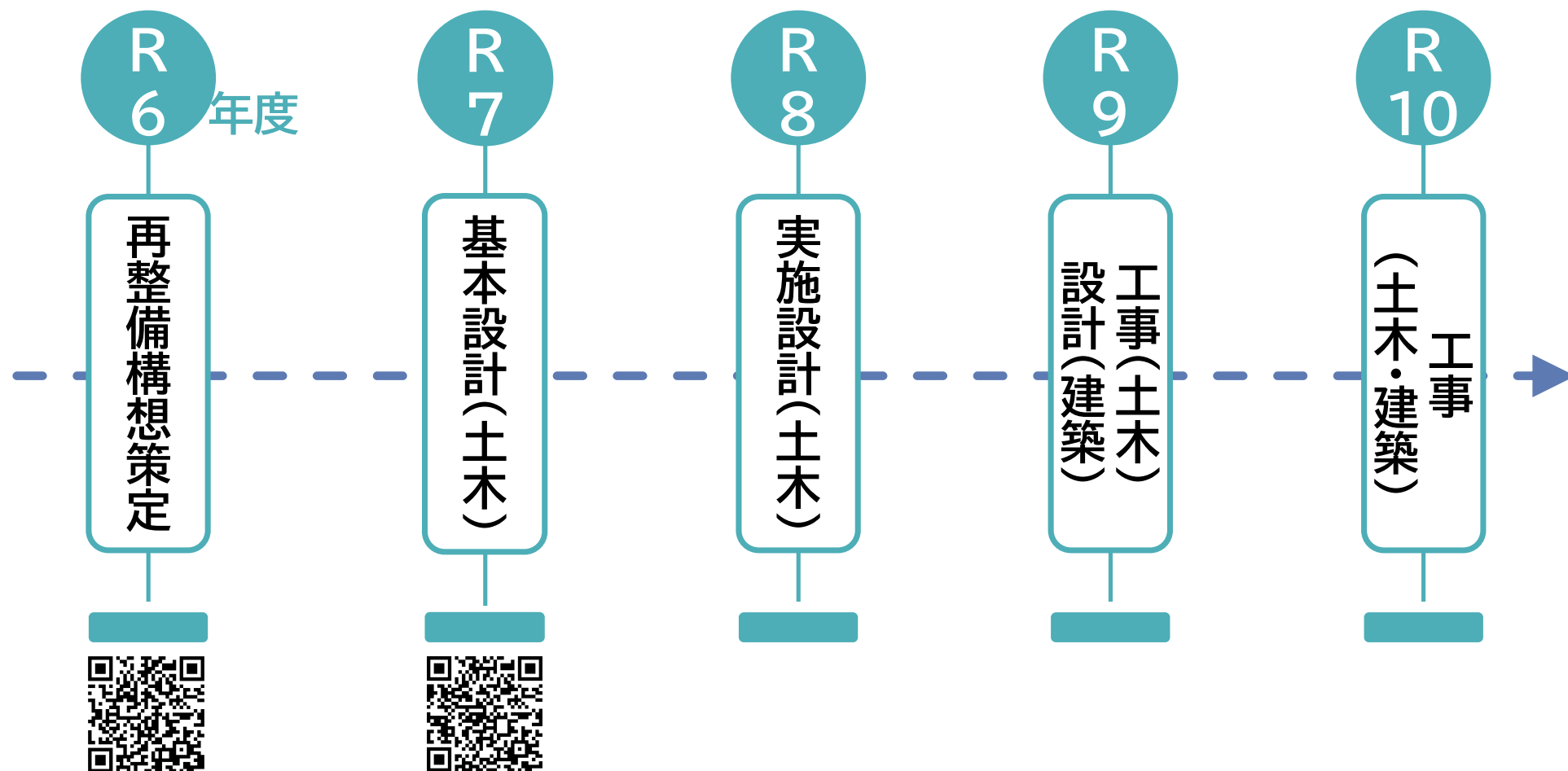
インクルーシブ遊具で遊んだり
遊具の周りを走り回ったりする

インクルーシブ遊具

遊具で遊ぶ子どもたちの
元気な姿を遠くから見守る

再整備に向けたスケジュール(予定)

グラウンドデザインの策定

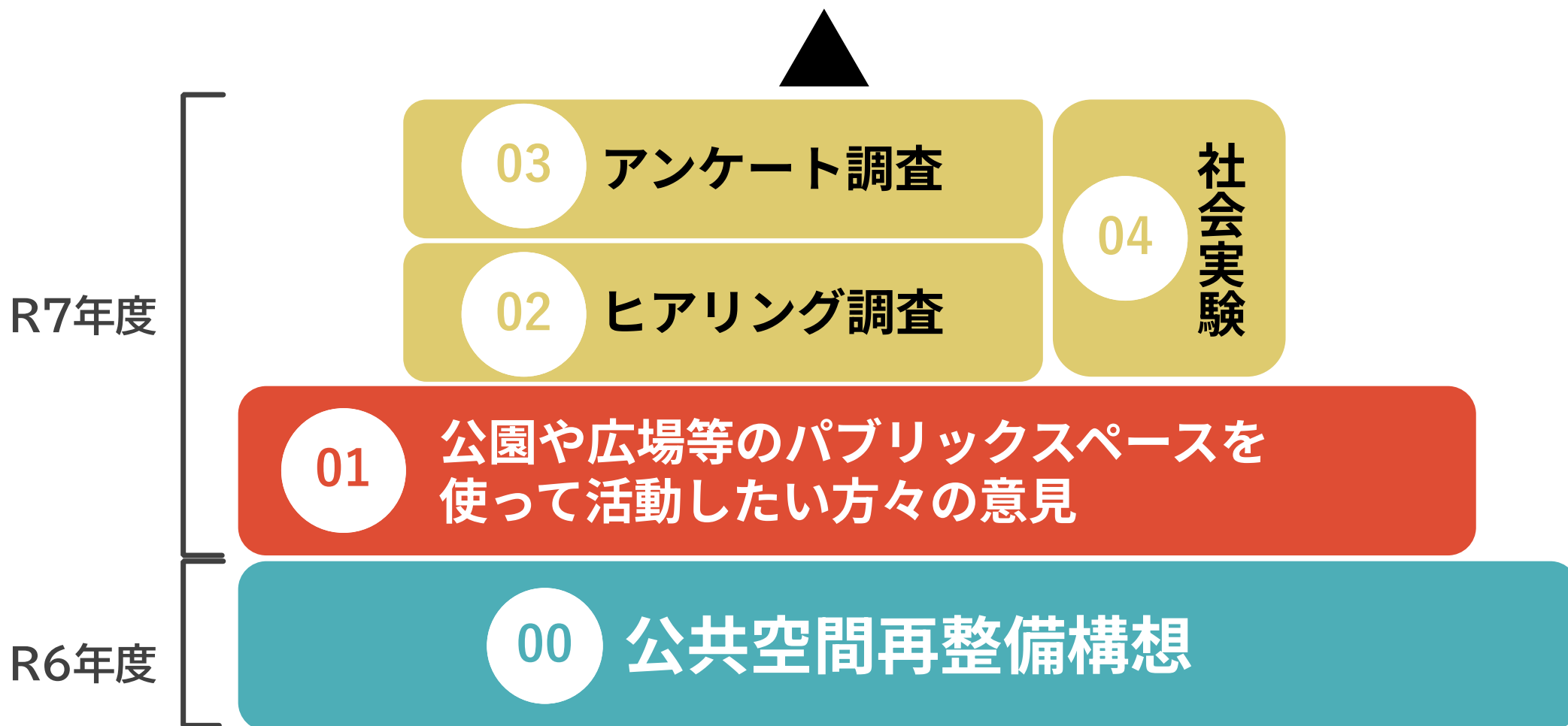


洛西タウンセンター
エリアにおける
公共空間再整備構想

再整備の進捗 (設計)

これまでのプロセス

基本設計のとりまとめ



令和6年度の取組

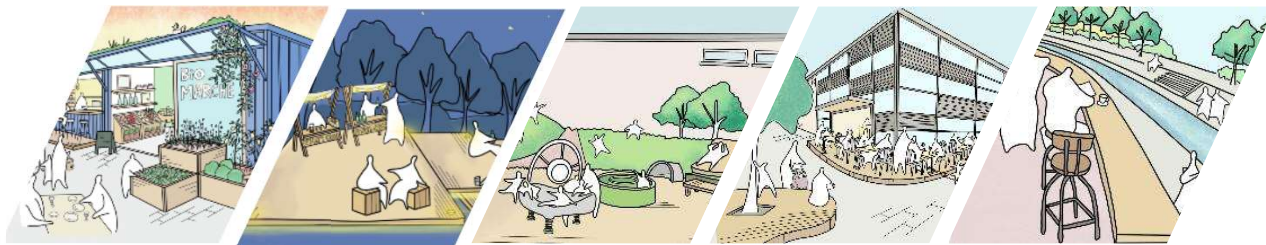
過年度(R6)の取組

00

洛西タウンセンターエリアにおける 公共空間再整備構想

「めぐり・つながり・つくりだす」

タウンセンター全体をシームレスに繋がり
ミクストユースされた公共空間への転換を
目指す。



主な意見・キーワード

- ボーダレス、境界や垣根を越えた循環の創出
- 使い手主体の常に変化がある公共空間
- インクルーシブ遊具や緑地帯
- 小商いや創造の場となる拠点
- 大原野の食材と出会えるマルシェ、シェアキッチン

令和7年度の取組

パブリックスペースを使って活動したい方々の意見

01 洛西パブラボ等で 広場の使い方を意見交換 ➡ 求められる要素

公共空間を活用して暮らしを豊かにする
市民協働プロジェクト「洛西パブラボ」等
において、実際に広場を使った、または使
いたい人から意見をいただいた。

現在の活動

子どもの居場所づくり

シェアキッチン

洛西産竹の活用



インフラ設備の充実

- ・利用しやすい水道や電源があれば、活動がしやすくなる

多機能な空間

- ・子どもが集まったりシェアキッチンをしたり、様々なことに使いやすい空間がよい

開放的な空間

- ・活動の持続・発展につながる、多くの目に見える開放的な空間がよい

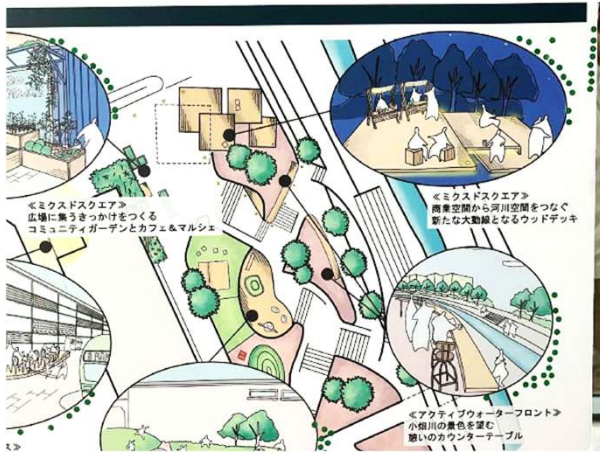
市民の皆様へのヒアリング

02 ヒアリング調査

①リビングラボウィーク

②Bamboo Bon Dance（洛西納涼祭）

それぞれの来場者に、構想を説明し、公園に求めるものを伺った。



①「リビングラボウィーク」(70件、自由回答) (R7.7.14~R7.7.20)

求める施設

- ・夜のにぎわいや、飲食できる場所
- ・休憩できるエリア、屋根空間
- ・多世代が交流できる場所
- ・若者が興味を持つ、おしゃれな空間
- ・子どもが遊べる場、親が見守れる場

②「Bamboo Bon Dance」(146件、選択回答) (R7.8.30)

求める施設

- 1.遊具(40%)
- 2.小規模施設（カフェ・マルシェ）(30%)
- 3.新しいトイレ(25%)
- 4.川を眺めるカウンター(24%)
- 5.屋根のある空間(23%)

※ 開放的な空間創出に向けた既設スロープ撤去には
半数以上（「わからない」を除く 8 割以上）が賛成

市民の皆様へのヒアリング

03 遊具・カウンターのアンケート調査

社会実験「みらいの広場」において、
(R7.11.14～15)

- ① インクルーシブ遊具
- ② 水辺を眺められるカウンター

を試験的に設置し、利用者から遊具や休憩施設への意見を収集した。

来場 270名 **アンケート** 85票

60%以上が20～40代の子育て世代

① 遊具について

- ・ 子供は「はねる、すべる、はしる」遊具が好き
- ・ 自然を感じる、開放感のある遊び場がほしい
- ・ 子ども目線を忘れずに設計してほしい
- ・ 今は遊べる場所が川ぐらいしかない

② カウンターについて

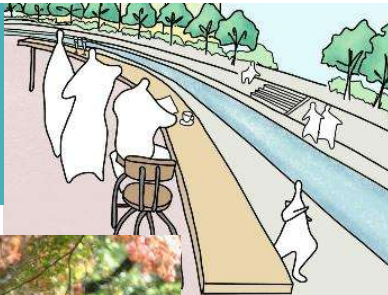
- ・ 人の流れはある場所なので、滞留スペースがあれば活気づく
- ・ カウンターからの景色は、洛西在住の自分にとっても新しい発見があった
- ・ 秋を感じられる、よい景色の空間だと思う

社会実験

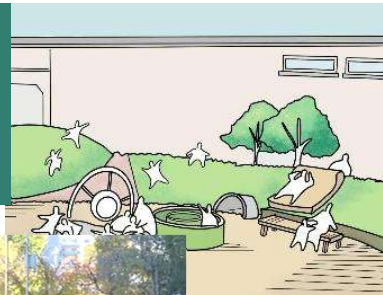
04 みらいの広場・リビングラボ

構想にある風景を社会実験として期間限定で先行実施し、将来の空間実装に向けた検討を行った。

アクティブ
ウォーター
フロント



ラウンジ
パーク



クリエイティブ
ベース



みらいの
広場



みらいの
広場



リビング
ラボ

社会実験「みらいの広場」 の風景 (R7.11.14～15)

カウンターから眺める小畑川

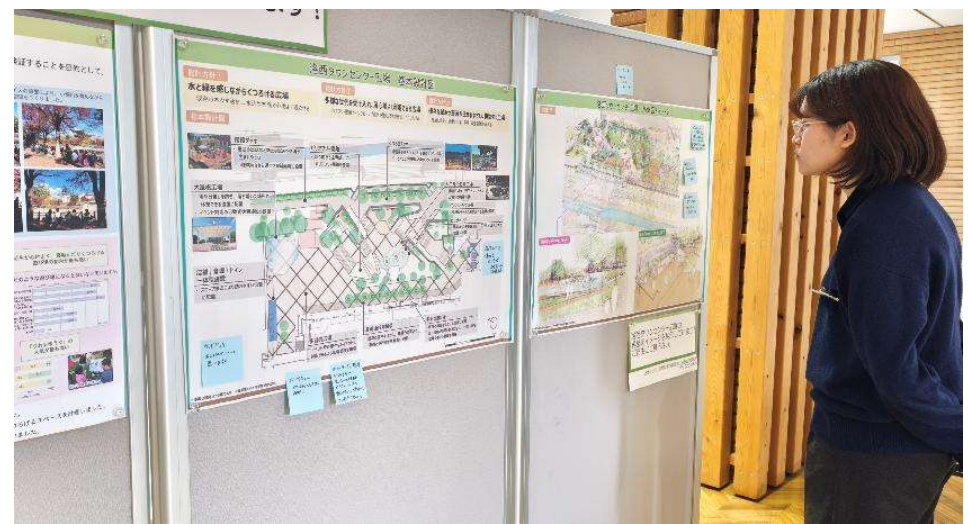
カウンターの利用状況

インクルーシブ遊具

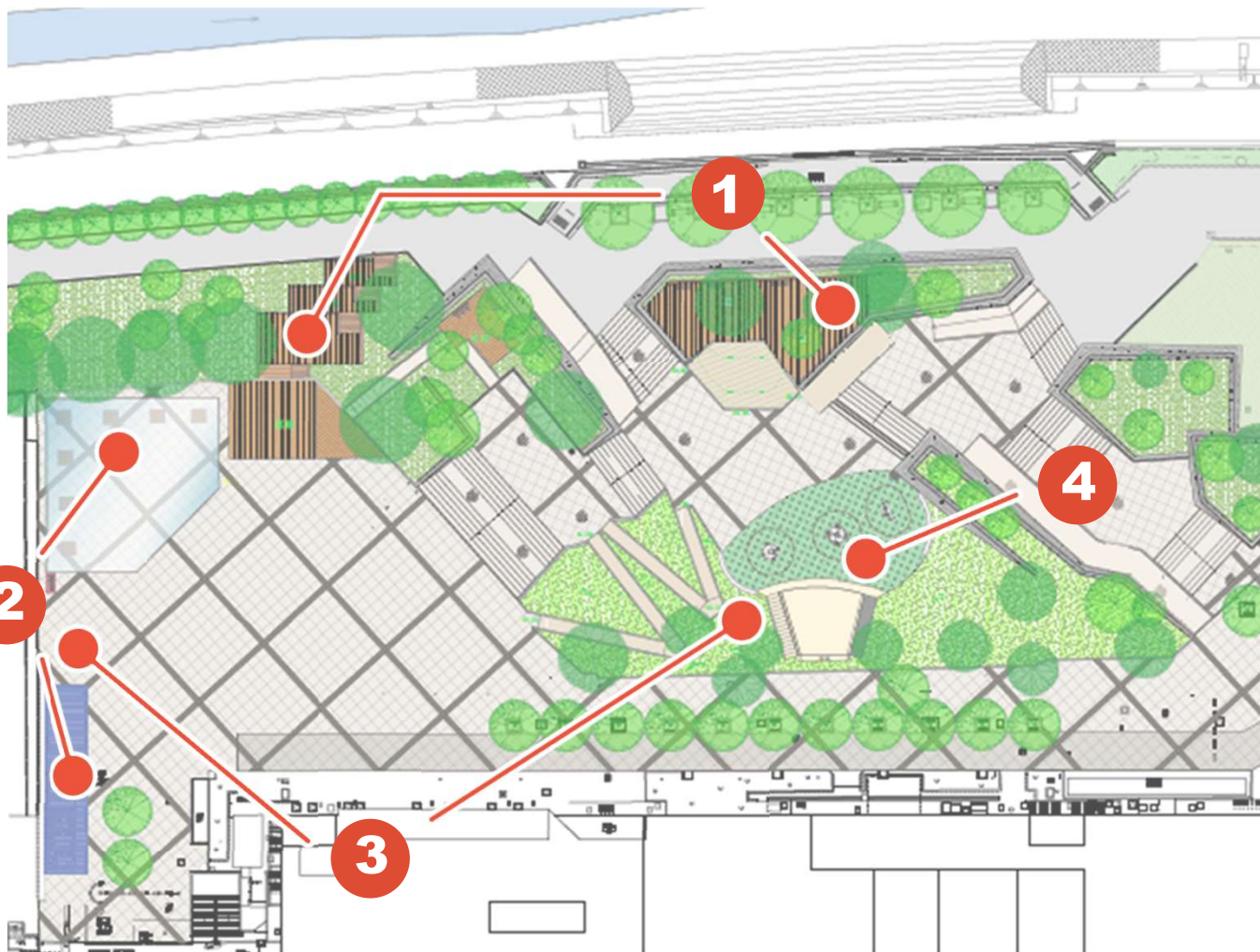
基本設計の取りまとめ

取りまとめた設計内容の展示

令和8年2月21日～3月1日にかけて、広場に隣接する商業施設（ラクセーヌ）内で、社会実験の実施結果や、取りまとめた基本設計の内容及びイメージパースを展示し、皆様にご覧いただいた。



基本設計の取りまとめ



1 ウッドデッキ・カウンター

広場と小畑川沿いをつなぐデッキや、見晴らしのよい高台でくつろげるカウンターを整備する。

2 小規模施設・屋根

市民交流やスモールビジネスの挑戦の場となる施設や、日常の休憩からイベント会場まで幅広くご利用いただける屋根を整備する。

3 シームレスで開放的な広場

既存スロープの撤去や、密集した樹木の伐採により、開放的で、見通しのよい空間を創出する。

4 インクルーシブ遊具の設置

障害の有無や年齢にかかわらず、誰でも遊ぶことができる「インクルーシブ遊具」と、遊ぶお子様を見守れるベンチを設置する。